

一般社団法人 日本ねじ工業協会・旭サナック株式会社 共催

Web-F T S (圧造技術スクール)

ー 工程設計コース開催のご案内ー

拝啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。平素は格別のお引き立てを賜り厚く御礼申し上げます。

さて、一般社団法人日本ねじ工業協会と旭サナック株式会社では、塑性加工技術の向上を図ることを目的として両者の共催によりまして、これから本格的に塑性加工の分野に取り組まれる方々に最適な工程設計を勉強して頂くために下記の要領により圧造技術スクール（工程設計）を開催することと致しました。

本スクールの主旨をご理解いただき、是非ともご参加くださいますようお願い申し上げます。

- 対象者 : ①原則として貴社に入社して2～3年までの方
②旭サナック㈱の機械をお持ちでなくても結構です。
※同業他社様にはご参加をご遠慮いただいております。

注意事項 : Web開催のため職業訓練の認定の対象とはなりません。
また、参加は1社3名までとさせていただきます。

敬 具

記

日 時 2024年2月19日(月)～2月21日(水) (標準所要時間:13～16時間)

受講場所 Web開催の為、申込各社様の自社内で用意願います。

講義内容 別紙「工程設計コースの内容説明」参照

募集定員 36名 ※先着順に定員になり次第、受付終了

参加費 ¥44,000(内訳:テキスト代を含む参加費および消費税)

2024年1月26日(金)までに、下記口座へお振込みをお願いします。

※2023年10月よりインボイス制度が開始いたしております。

制度に対応した請求書を旭サナック(株)より発行させていただきます。

<振込先> 三菱UFJ銀行 尾張旭支店 当座 No. 110302

口座名 旭サナック株式会社

(振込手数料は 貴社にてご負担願います)

準備いただくもの

- ① インターネット環境、受講場所(周囲の方への影響を配慮して、部屋をご用意いただくことをお勧めします。
また、イヤホン or ヘッドホンの準備などもご検討ください)
- ② レポートの電子化手段(スキャナ or デジタルカメラ)
- ② 電卓・パソコン・筆記用具

申込方法

Web化に伴い、E-メールにて申込受付を行っております。

メール件名を「**2月圧造技術スクール申込**」としていただき、下記10個の情報を明記の上、申込専用アドレスへ受講者情報を送付いただきますようお願い申し上げます。

- ①氏名(フリガナ) ②会社名 ③郵便番号 ④住所 ⑤所属部署 ⑥役職 ⑦勤続年数
- ⑧メールアドレス(日中連絡可能なメールアドレス) ⑨電話番号 ⑩FAX番号

日本ねじ工業協会 圧造技術スクール申込 専用アドレス : fts@fij.or.jp

一般社団法人 日本ねじ工業協会

〒105-0011

東京都港区芝公園 3-5-8 機械振興会館 508号室

TEL 03-3434-5831～2 FAX 03-3434-0546

旭サナック株式会社

〒488-8688

愛知県尾張旭市旭前町 5050

TEL 0561-53-1261 FAX 0561-53-5512

Web-F T S (圧造技術スクール)

－ 工程設計コースの内容説明－

このコースは、塑性加工の工程設計において必要な基礎的知識を、演習を通じて修得していただくことを目的としております。コースの概要は、下記の通りです。

記

I. 対象者

- a) メーカーに入社して2～3年目の方
- b) 金型の工程設計をはじめて取り組まれる方

II. 講義内容

- 1. 冷間圧造機械の歴史 (資料のみ)
 - 1) 前 史
 - 2) 機械の誕生と発展
 - 3) 近代から将来への展望
- 2. 圧造機械の概要
 - 1) 圧造機械の種類
 - 2) 圧造機械を構成する機構と機能
 - 3) 圧造機械の基本的能力
- 3. 塑性加工の概要
 - 1) 塑性変形
 - 2) 鍛造加工と加工温度
 - 3) 塑性加工の基本形
 - 4) 冷間鍛造の利点、問題点、種類
 - 5) 加工率の計算方法
 - 6) 加工限界
 - 7) 加圧力 (圧造力) の考え方
- 4. 工程設計
 - 1) 工程設計の手順
 - 2) 加工方法の特性と限界
 - 3) ショルダ製品の工程設計
 - 4) 工程設計演習
- 5. 材 料
 - 1) 「線材・ワイヤ」のできるまで
 - 2) 「S-C材」
 - 3) その他の材料
 - 4) 潤滑と表面処理

以上